

「画像診断のための知っておきたいサイン」第2版

慶應義塾大学講師・放射線科 甲田 英一
 東京都済生会中央病院放射線科部長 古寺 研一 著
 慶應義塾大学教授・放射線科 平松 京一

昭和大学医学部放射線医学教室

宗 近 宏 次

この度、画像診断のための基礎シリーズの第3弾として甲田英一、古寺研一、平松京一の共著で「画像診断のための知っておきたいサイン」第2版が医学書院から出版された。初版は1983年なので、その後の目覚ましい画像技術の進歩に対応してその内容が改訂されている。全頁数は248頁、価格は3,800円、そして大きさはA5判、いずれも手ごろで簡便な画像診断の参考書である。

目次では部位別または臓器別に画像サインが並べられている。全画像サインの数は228で、全診断領域に及んでいる。各頁は画像サインの名、その特徴的所見を示すシェーマ、そのサインの説明、そしてその臨床的

意義と文献で構成されている。特にシェーマは頁面積の約50%の大きさに描かれ、画像サインの本態を視覚的に記憶しやすく、また理解しやすくしてある。画像サインのイメージモダリティは、単純X線、各種の造影検査、CT、US、核医学に及んでいる。索引は和文と欧文から成り、特に知りたい画像サインは欧文索引から引けるようになっている。

画像サインの表示には、実際のイメージを用いず画像サインの特徴的所見をシェーマで示し、理解しやすくしたのが本書の特色である。画像サインが病気に特異的なことも少なくない。またそのサインの意味を知る人たちにとっては、画像サインは

互いに通じ合える便利な用語であり、病態を示すのにこれに勝るものはない。したがって、シェーマでその意味をよく理解したうえで、その知識を実際のイメージをみるときに利用するのが合理的なのかもしれない。医学部学生、卒後内科研修医また放射線科研修医が本書を画像診断のノートブックとして手元に用意してもらえたらどんなに役立つだろうと考え推薦する。

● A5 頁262 (全頁2色刷り) 図
 213 1997 定価(本体3,800円 +
 税) 円400

医学書院 刊(☎ 03-3817-5657)